

PCIホールディングス株式会社（証券コード：3918 サンキューいっぱい！）

2018年9月期 決算説明会資料 2018年11月28日

ステークホルダーの皆様へ

当社は、2018年11月13日に2018年9月期通期決算を発表し、**7期連続の増収・過去最高益**という業績を収めることができました。

当社グループは、2018年9月期も引き続き、**IT技術をもって「安心・安全・豊かな社会に貢献する会社」を目指し、次世代技術の研究開発及びサイバーセキュリティ分野を中心に事業展開**してまいりました。あらゆるモノがインターネットを介して繋がる**「IoT/IoE社会 = Connected World」**の到来を見据え、IoT/IoEソリューション事業の裾野拡大のために、**M&Aを継続実行**いたしました。

また、グループ間の業務効率向上及びシナジー創出等を目的に、2018年1月に本社を移転した他、IoT/IoE社会の実現と共に危惧される情報セキュリティ対策の一つとして、**『OS Protect型エンドポイントセキュリティ製品「AppGuard®」』の販売及び付随するサービスの提供を開始**、2018年6月にSafer Connected World株式会社（連結子会社）を設立いたしました。

当社グループは、これからも**「安心・安全・豊かな社会」を実現**すべく、**「IoT/IoE社会 = Connected World」**、**「IIOT = Industrial Internet of Things（産業分野におけるIoT）」**、**「自動走行・自動運転・Connected Car」**、**「VR/AR」**、**「AI」**等へソフトウェア技術を提供するとともに、**「M&A戦略」によりグループの拡大**を目指してまいります。

引き続きご支援のほど宜しくお願い致します。

PCIホールディングス株式会社
代表取締役社長 原口 直道



1. 既存事業の好業績に加え、M&Aの寄与により前期を大幅に上回る売上高実績

<2017/9 連結売上高>

通期実績: **11,397百万円**

(前期比34.0%増)

<2018/9 連結売上高>

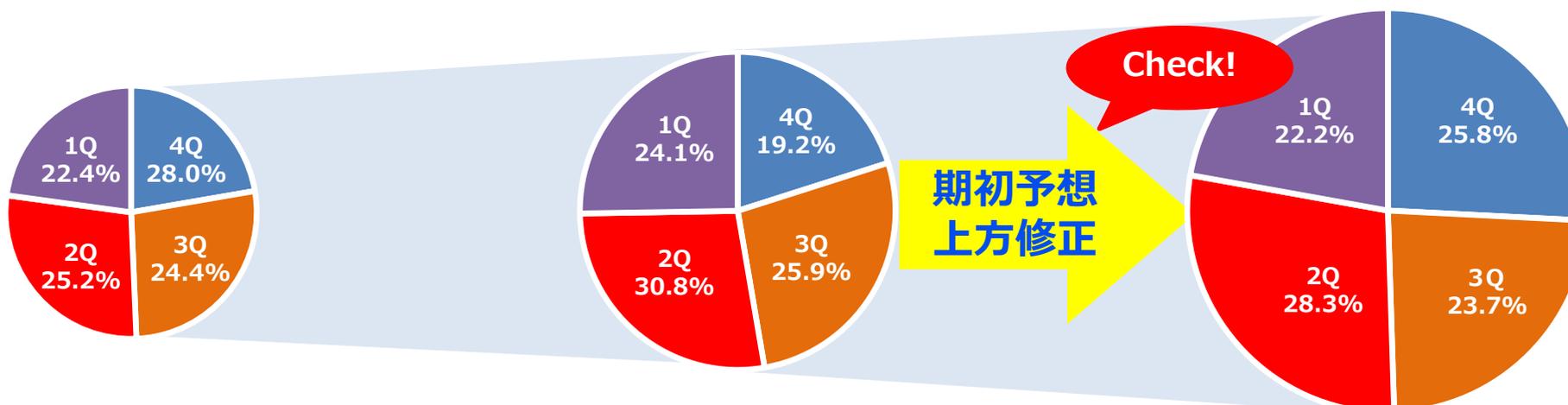
当初予想: **13,300百万円**

(前期比16.7%増)

<2018/9 連結売上高>

通期実績: **14,493百万円**

(前期比27.2%増)



2. 引き続き「安心・安全・豊かな社会」の実現と、次世代技術の創出に向けた研究開発にも注力

- ・ 車車間通信を可能にする **「V2X」**
- ・ コミュニケーションツール **「A-ya」**、**「位置情報」** を活用したソリューション
- ・ 情報セキュリティ分野への取り組み **「AppGuard®」**



2018年9月期 決算業績サマリー



売上高：売上高**14,493百万円**（前連結会計年度比 **27.2%増**）。好調なIT関連投資需要を背景に、**プロパー・エンジニアの稼働率**及び**ビジネス・パートナーの稼働数**も順調に推移。

営業利益：**728百万円**（前連結会計年度比 **1.6%増**）。**M&A費用**、**AppGuard事業開始に伴う戦略的投資**及びグループ各社集約に伴う**賃料の増加**等。

(百万円)	17年9月期			18年9月期				通期計画 進捗率
	上期 実績	下期 実績	通期 実績	上期 実績	下期 実績	通期 実績	通期計画	
売上高	5,422	5,975	11,397	7,308	7,184	14,493	14,300	101.4%
売上総利益	1,324	1,375	2,699	2,016	1,930	3,946	-	-
(売上総利益率)	24.4%	23.0%	23.7%	27.6%	26.9%	27.2%	-	-
営業利益	437	279	717	494	234	728	730	99.8%
(営業利益率)	8.1%	4.7%	6.3%	6.8%	3.3%	5.0%	5.1%	-
経常利益	440	285	726	516	254	771	762	101.2%
(経常利益率)	8.1%	4.8%	6.4%	7.1%	3.5%	5.3%	5.3%	-
親会社株主に帰属する当期純利益	286	163	450	288	181	469	455	103.2%
(当期純利益率)	5.3%	2.7%	4.0%	3.9%	2.5%	3.2%	3.2%	-
EPS	76.38円	43.58円	119.93円	71.01円	43.23円	113.74円	110.18円	-



1. 決算概要	4 ページ
2. 中期ターゲットと株主還元方針	12 ページ
3. 実用化されたIoT/IoEソリューション	15 ページ
4. CSR・ESGへの取り組み	21 ページ
5. 決算期末後のリリース	23 ページ
6. 参考資料	26 ページ

証券コード 3918
東証一部上場

PCIホールディングス株式会社

PCIグループ

- PCIソリューションズ株式会社
- PCIアイオス株式会社（2018.10.1 リーふねっとと統合）
- 株式会社シスウェーブ
- 株式会社シー・エル・シー
- 株式会社リーふねっと
- Safer Connected World株式会社（2018.6.1新設）
- VSE（2018.9.1子会社化）



1. 決算概要



<参考資料> 事業区分の推移について



2016年9月期

2017年9月期

2018年9月期

情報サービス事業

ITソリューション事業

ITソリューション事業

エンベデッド
ソリューション事業

エンベデッド
ソリューション

エンベデッド
ソリューション

ビジネス
ソリューション事業

ビジネス
ソリューション

ビジネス
ソリューション

IoT/IoE
ソリューション事業

IoT/IoE
ソリューション

IoT/IoE
ソリューション事業

POINT!

半導体トータル
ソリューション事業

半導体トータル
ソリューション事業



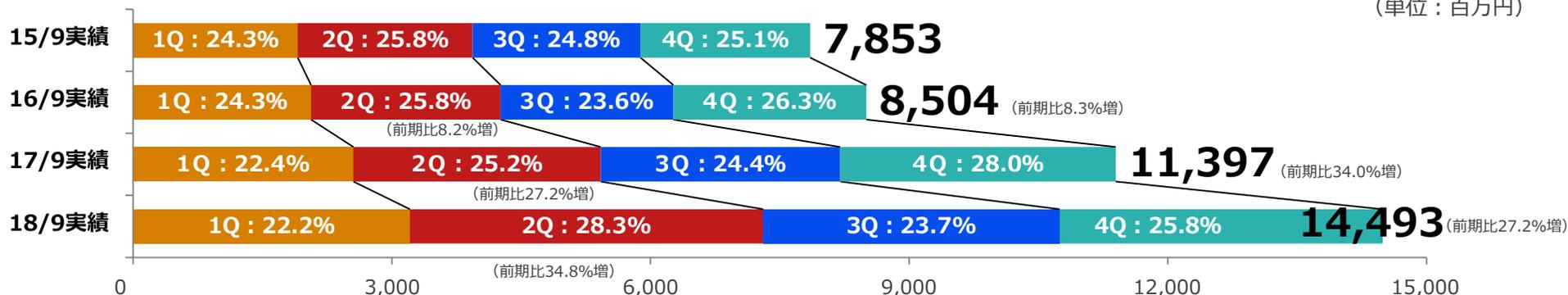
IR Movies

2018年9月期 業績推移 (サマリー)

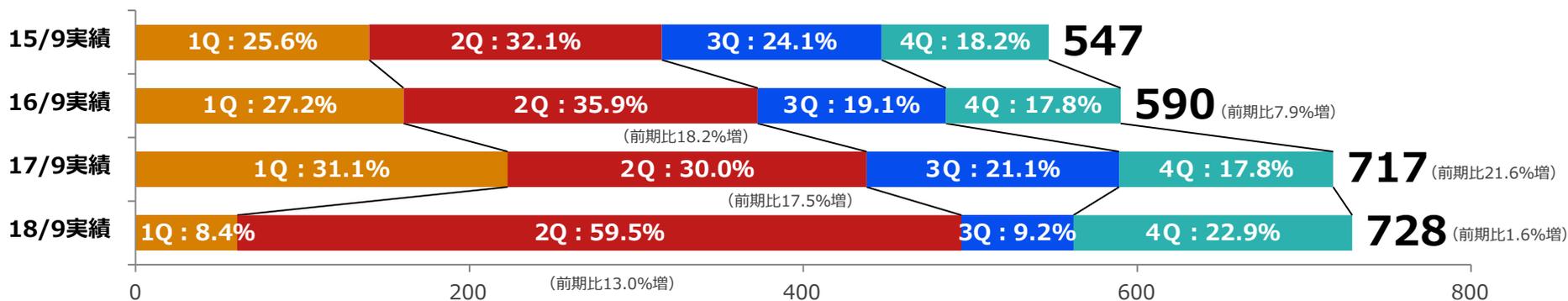


(単位：百万円)

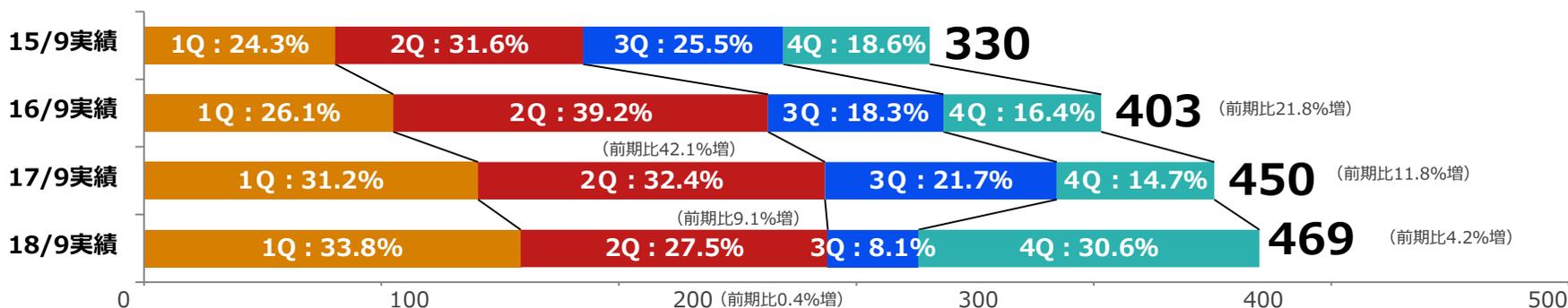
売上高



営業利益



当期純利益



IR Movies

2018年9月期 決算業績サマリー



- 【連続増収】** 将来の「IoT/IoE社会 = Connected World」を見据えたIoT/IoEソリューション事業投資を吸収し連続増収。M&A戦略も継続推進し、規模拡大。恒常的なITエンジニア不足対策として、ビジネスパートナー（BP）を積極活用。
- 【新領域】** IoT/IoE社会における情報セキュリティ・ソリューションとして、革新的サイバーセキュリティソフト「AppGuard®」の販売及び付随サービスの提供を開始。
- 【特別損益】** 子会社株式売却益、移転関連コスト及び投資有価証券評価損を計上。

(百万円)	2018年9月期 (実績値)	対前期比		対計画比		2017年9月期 (前期実績値)	2018年9月期 (計画値)
売上高	14,493	+3,096	(+27.2%)	+193	(+1.4%)	11,397	14,300
売上総利益	3,946	+1,247	(+46.2%)	-	-	2,699	-
(売上総利益率)	27.2%	+3.5pt		-		23.7%	-
営業利益	728	+11	(+1.6%)	▲1	(▲0.2%)	717	730
(営業利益率)	5.0%	▲ 1.3pt		▲0.1pt		6.3%	5.1%
経常利益	771	+45	(+6.2%)	+9	(+1.2%)	726	762
(経常利益率)	5.3%	▲ 1.1pt		±0pt		6.4%	5.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	469	+19	(+4.2%)	+14	(+3.2%)	450	455
(当期純利益率)	3.2%	▲ 0.8pt		±0		4.0%	3.2%
【1株当たりデータ】							
D P S (円)	55	+5	(+10.0%)	+5	(+10.0%)	50	50
E P S (円)	113.74	▲6.19	(▲5.2%)	+3.56	(+3.2%)	119.93	110.18
【財務データ】							
R O E (%)	11.0%	▲ 2.7pt		-		13.7%	-
自己資本比率 (%)	54.8%	+2.2pt		-		52.6%	-

エンベデッドソリューション

～スマートカー・自動運転シミュレーター開発～

- 高度な技術を要する**エンベデッド技術者育成**に努めると共に、車載情報系案件からより参入障壁の高い**AUTOSAR開発案件の受注拡大**に注力。顧客企業への提案型開発アプローチも継続推進。
- これまでの開発実績と自動車業界における先端技術を用いた**安全運転支援システムを搭載したスマートカー開発**関連案件や**自動運転シミュレーター開発**等が引き続き好調に推移。
- 既存顧客からの**安定した引き合いも継続**。
- 事業者向け**基地局建設支援**や**通信専用装置開発**等の通信分野案件も増加

ビジネスソリューション

～ビジネスパートナー強化で事業規模が拡大～

- 既存取引先との**深耕拡大及び新規顧客の開拓**に努め、大手企業からの新規受注が増加。**収益構造の改善**に向けた各種施策も奏功。
- 多岐にわたる顧客需要に応えるべくビジネスパートナーとの**更なるアライアンス強化**に取り組む。企業向けソフトウェア開発においては、**金融機関向け案件が好調に推移**。
- 連結子会社株式会社シー・エル・シーが展開する**メインフレーム分野**においても、**Dell EMCバックアップ環境構築案件**等の大型案件が寄与。

IoT / IoE ソリューション

～インダストリアルIoT、AppGuard®～

- 今期より連結子会社となった**株式会社リーふねつと**が展開する通信事業分野及びソリューション事業分野が**収益に大きく寄与**。
- 建設機械業界における「**インダストリアルIoT**」への**取り組み**を背景に、当社グループが得意とする通信制御技術をコア技術とした**重機・建機分野案件が堅調に推移**。
- サイバーセキュリティソフト「**AppGuard®**」の知名度向上及び販売強化に向けた各種取り組みに注力。

半導体トータルソリューション事業

～ファームウェア・イメージセンサ向けテスト開発～

- **電気自動車や自動運転車向け及びIoT向け半導体需要**の増加による国内外半導体市況の好調を背景に**主要顧客から継続的な引き合い**。
- **自動車向けファームウェア開発**や**イメージセンサ向けテスト開発案件**等の既存顧客進行により売上高伸長。
- 半導体関連事業者以外の**機械系企業からの商談が増加**し新規案件受注に加え、**特定用途向けプロセッサの後工程フックストップ対応等の新規案件を受注**し好調に推移。



2018年9月期 連結損益計算書



(百万円)	2017年9月期				2018年9月期			
	上期	3Q	4Q	通期	上期	3Q	4Q	通期
売上高	5,422	2,779	3,195	11,397	7,308	3,438	3,746	14,493
エンベデッドソリューション	2,054	1,092	1,159	4,305	2,368	1,125	1,282	4,776
ビジネスソリューション	2,200	1,160	1,452	4,814	3,519	1,452	1,588	6,560
IoT / IoE ソリューション	409	131	162	703	502	432	441	1,376
半導体トータルソリューション	758	395	420	1,574	917	427	433	1,779
売上原価	4,098	2,136	2,463	8,698	5,292	2,518	2,736	10,546
売上総利益	1,324	642	732	2,699	2,016	919	1,010	3,946
エンベデッドソリューション	487	225	218	930	521	231	250	1,003
ビジネスソリューション	457	233	328	1,020	940	339	415	1,695
IoT / IoE ソリューション	147	43	63	255	257	213	209	680
半導体トータルソリューション	231	140	121	492	296	134	135	566
販管費	886	491	604	1,982	1,521	852	843	3,217
営業利益	437	151	128	717	494	67	167	728
経常利益	440	151	133	726	516	80	174	771
税前利益	440	151	113	706	460	79	191	732
法人税等	153	54	47	255	172	42	47	262
親会社株主に帰属する当期純利益	286	97	66	450	288	38	143	469

連結貸借対照表

(単位：百万円)	2017年9月期	2018年9月期
流動資産	5,395	5,969
現預金	1,935	2,023
売上債権	2,862	3,378
その他	597	566
固定資産	1,134	3,282
のれん	100	1,189
投資有価証券	534	916
その他	500	1,175
資産合計	6,530	9,253
流動負債	2,563	2,917
仕入債務	695	859
借入・社債	254	332
その他	1,613	1,725
固定負債	532	1,172
借入・社債	290	558
退職給付に係る負債	126	140
その他	116	474
負債合計	3,096	4,090
純資産合計	3,433	5,162
負債純資産合計	6,530	9,253

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)	2017年9月期	2018年9月期
営業活動によるCF	645	525
税金等調整前当期純利益	706	732
減価償却費	49	128
のれん償却額	16	88
売上債権の増減額	▲468	▲333
たな卸資産の増減額	144	▲18
仕入債務の増減額	68	88
その他	128	▲160
投資活動によるCF	▲616	▲779
有形固定資産の取得	▲23	▲118
投資有価証券の取得	▲271	▲474
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	▲336	—
その他	14	▲186
財務活動によるCF	▲403	▲235
長短借入金及び社債の純増減額	▲223	107
配当金の支払額	▲186	▲188
その他	7	▲153

(百万円)	2019年9月期 (計画)						2018年9月期 (実績)
	上期	対前期比	下期	対前期比	通期	対前期比	
売上高	7,660	+351(+4.8%)	8,340	+1,155(+16.1%)	16,000	+1,506(+10.4%)	14,493
営業利益	339	▲155(▲31.5%)	461	+226(+96.9%)	800	+71(+9.8%)	728
(営業利益率)	4.4%	▲2.4pt	5.5%	+2.2pt	5.0%	±0pt	5.0%
経常利益	342	▲174(▲33.8%)	474	219(+86.2%)	816	+44(+5.8%)	771
(経常利益率)	4.5%	▲2.6pt	5.7%	+2.2pt	5.1%	▲0.2pt	5.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	229	▲59(▲20.5%)	311	+129(+71.1%)	540	+70(+15.0%)	469
(当期純利益率)	3.0%	▲0.9pt	3.7%	+1.2pt	3.4%	+0.2pt	3.2%
DPS (円)	30円	-	30円	-	60円	+5(+9.0%)	55円
配当性向 (%)	-	-	-	-	46.8%	▲1.6pt	48.4%
EPS (円)	54.41円	▲16.6 (▲23.4%)	73.89円	+30.66 (+70.9%)	128.30円	+14.5(+12.8%)	113.74円

Tips!

来期計画のPOINT :

- 1) M&A実施企業の通期寄与 (売上高の成長、季節変動の影響拡大)
- 2) 次期を見越した先行投資 (グループ会社の拠点集約、先端技術の研究開発、積極的な人財採用)
- 3) 戦略的事業投資、既存事業の強化及び事業領域の拡大を目的としたM & A、協業による事業展開を積極的に推進

2. 中期ターゲットと株主還元方針

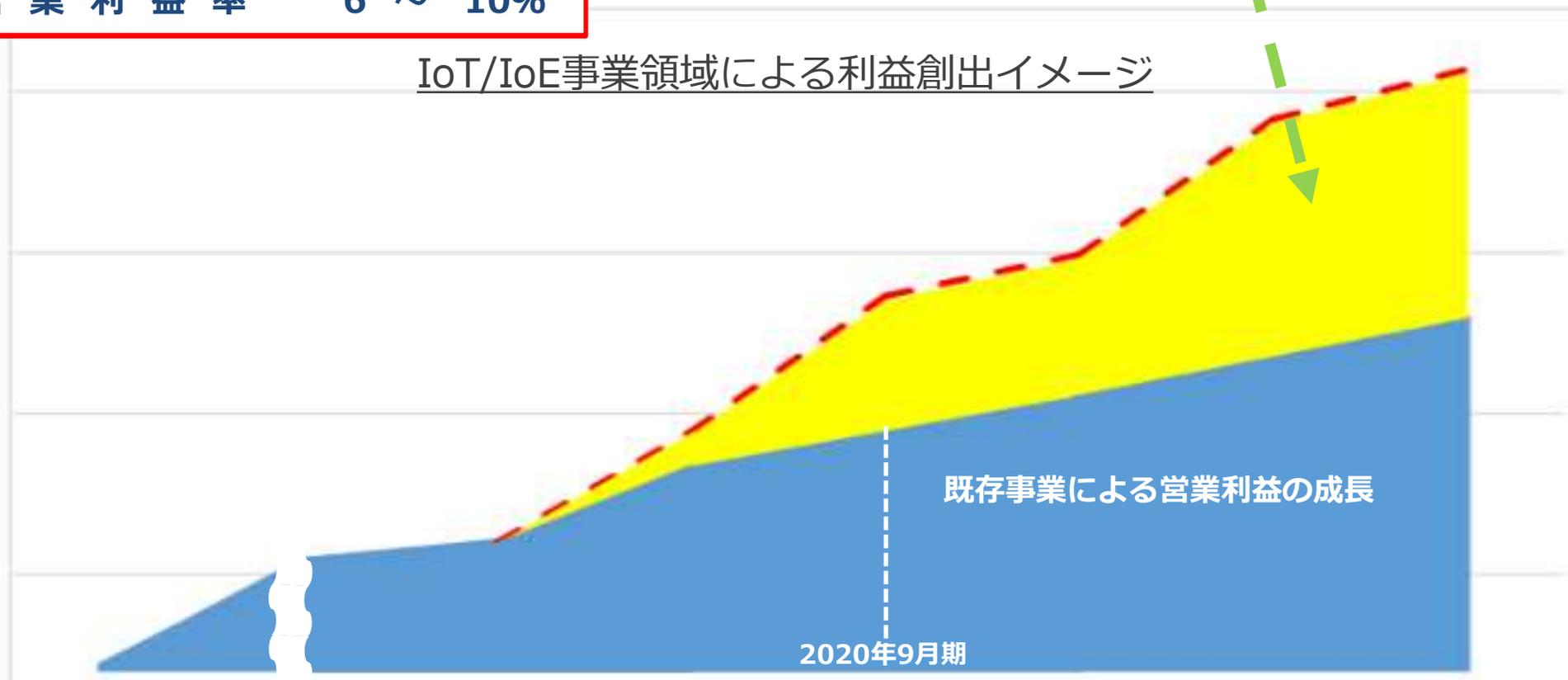


中期ターゲット

売上高成長率	5 ~ 20%
売上総利益率	20 ~ 30%
営業利益率	6 ~ 10%

M&A及び、IoT/IoE事業領域
(V2X、情報セキュリティ、位置情報の活用等)
による増加収益

IoT/IoE事業領域による利益創出イメージ



※ IoT/IoE事業領域による利益創出イメージは、現在織り込んでいないM&A、V2Xユニット、情報セキュリティ、位置情報の活用等の新しい取り組みによる収益を反映させた予想値をグラフ表示しているものです。当該事業の今後の拡大規模や展開スピードにより大きく変動することが予想されるため、当社計画値を表すものではありません。



株主還元方針

安定した配当を維持継続し、業績に裏付けられた更なる配当水準の向上
[連結配当性向：30%～50%を目安とする]

配当推移

	2013年9月期 (実績) (未上場時)	2014年9月期 (実績) (未上場時)	2015年9月期 (実績)	2016年9月期 (実績)	2017年9月期 (実績)	2018年9月期 (実績)	2019年9月期 (予想)
年間配当金	32.5円	35円	40円 (普通配：35円) (記念配：5円)	50円 (普通配：40円) (記念配：10円)	50円 (普通配：50円)	55円 (普通配：55円)	60円 (普通配：60円)
配当性向	-	-	34.0%	42.1%	41.7%	48.4%	46.8%

(注) 1.2015年3月23日付で普通株式1株につき100株、2016年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
 2.上記記載の年間配当金は、分割換算後の数値を記載しております。

3.2019年9月期より、配当方針を変更し、中間配当を実施いたします(第2四半期30円、期末30円を予定)。



3. 実用化されたIoT/IoEソリューション

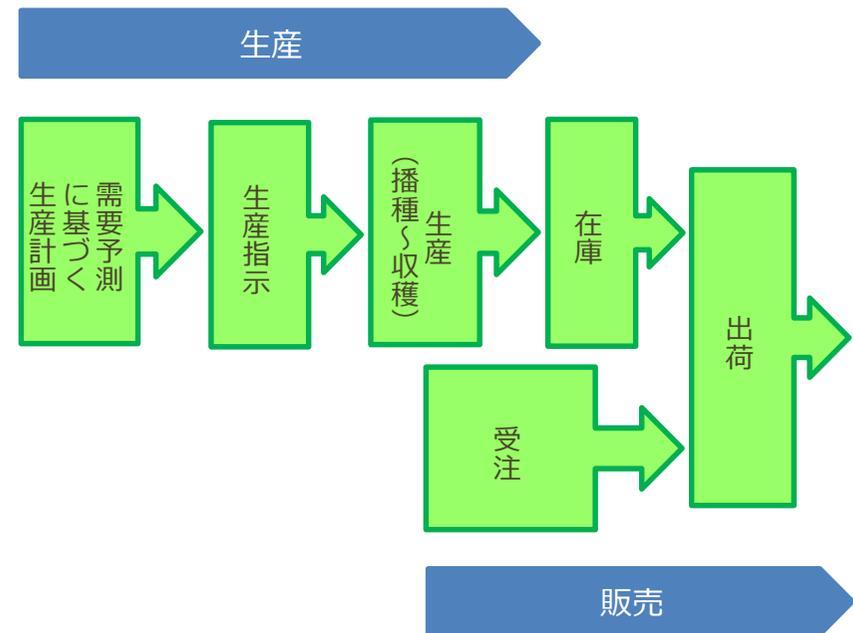
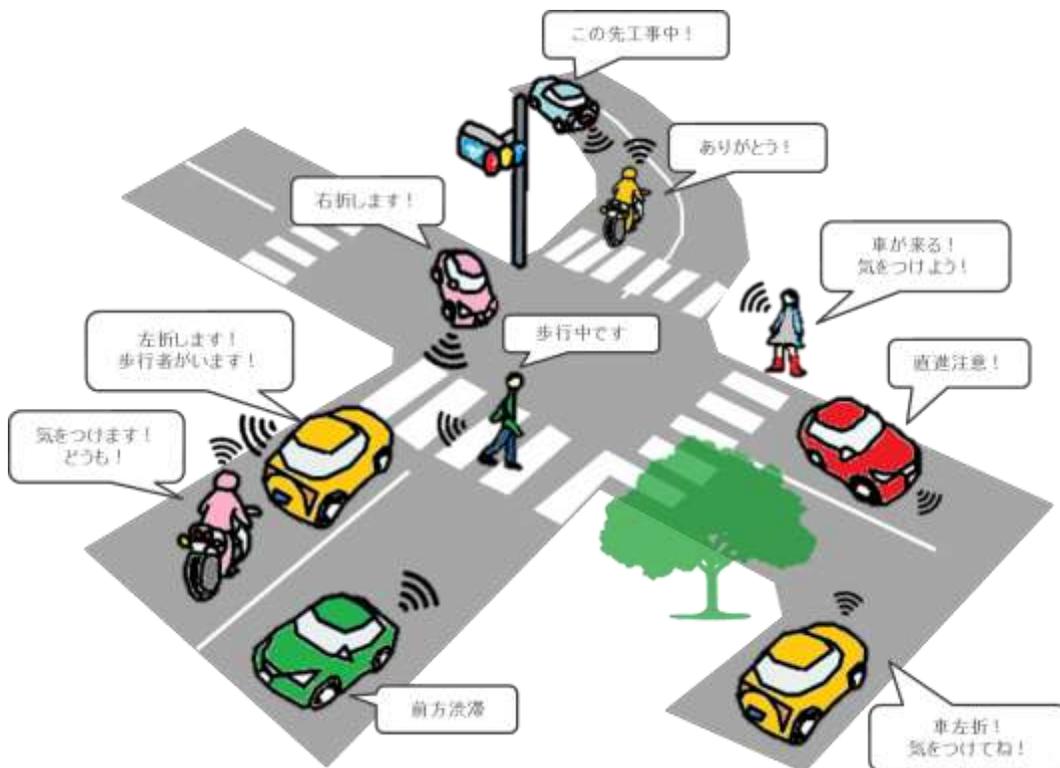


V 2 X (Vehicle to X・車車間通信)、植物工場事業への参画

V 2 Xとは、自動車 (Vehicle) と他の様々な機器やもの (X) とを通信でつなげること。

当社は**V 2 Xユニットのソフトウェア開発**と**V 2 Xを活用した新サービスを提案**

当社の**資本業務提携先**である株式会社バイテックホールディングスのグループ子会社が展開する**植物工場事業**に対し、**当社が一部出資**し、同事業に係る**システム開発を受託**



経緯・・・

来るべきIoT/IoE社会におけるサイバーセキュリティ領域へ進出するために株式会社Blue Planet-worksへ出資し、『最強そして究極』と呼ばれる同社製品『AppGuard®』の取り扱いを開始

目的・・・

IoT/IoE 社会

=あらゆるモノがインターネットを介してつながる社会
= Connected World

の到来を見据えた戦略の展開が可能

効果・・・

自動走行・自動運転をはじめとした車同志或いは「人と人」・「人とモノ」
・「モノとモノ」が相互に繋がる
「Connected World」のセキュリティ強化まで、当社グループがリード



平成30年度版 **完全適合**
内閣サイバーセキュリティセンター
ガイドライン適合製品！

APPGUARD

サイバーセキュリティに対する脅威への対応が社会にとって共通の課題となっている今日、エンドポイントセキュリティ対策は、情報を守る企業・個人の責務でもあります。様々なソフトウェア企業より、アンチウイルス、AI検知学習、振る舞い検知、EDRなど、それぞれの特色をもった製品が市場で入手可能です。そのどのカテゴリにも属さない、セキュリティを新次元で高めようとする新機軸の製品、AppGuardのご紹介です。

単体製品で完全適合 **APPGUARD**とは

サイバーセキュリティ基本法に基づいて策定された「政府機関等の情報セキュリティ対策のための統一基準」に照準するガイドラインが、内閣サイバーセキュリティセンター（NISC）により2018年7月25日に閣議されました。情報セキュリティ対策の本格的な標準化を実現して、「国境及び未知の不正プログラムの検知及びその実行の防止のための機能をもつソフトウェアの導入」が義務づけられ、究明可能なガイドラインとして要約すると下記3点があげられています。

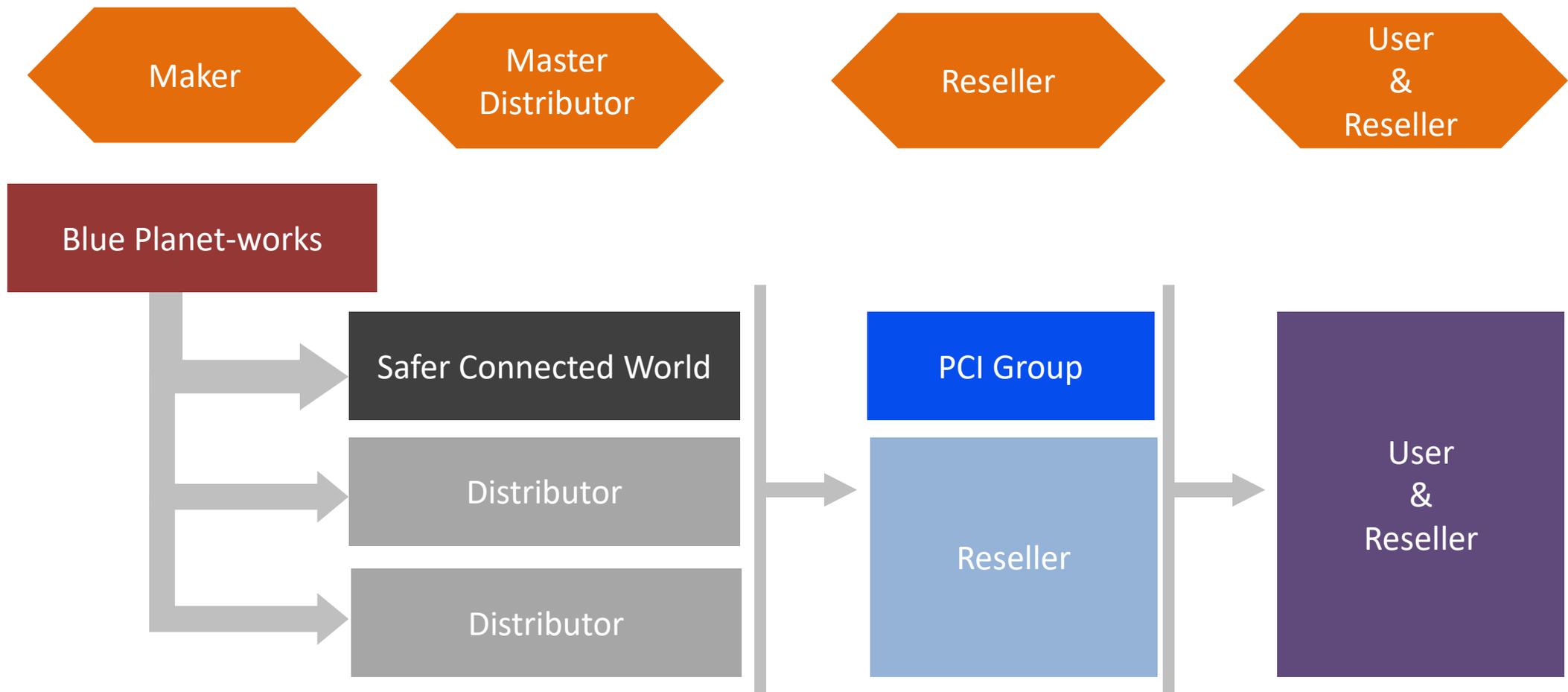
NISCガイドライン	APPGUARD
シグネチャにより検知する方式以外を採用しての検知の脅威への対応	シグネチャ（振る舞い）ファイルに依存しません。
OSのプロセスやメモリ、レジストリへの不正なアクセスや書き込みを監視し、不正プログラムの実行を阻止・検知	特許取得の検知技術（Insulation Technology）により、OSのプロセスやメモリ、レジストリへの不正アクセスを防止
端末への負荷の軽減	エンジンは1MB以下で軽量。 定期的なスキャン・アップデートは不要です。

標的型メール攻撃対策、ファイルレスマルウェア対策、ランサムウェア対策
に絶大な効果を発揮する、まったく新しいエンドポイントセキュリティ製品！

AppGuard®、AppGuard®のロゴは商標登録済み。AppGuard®、No. 2は登録商標。Blue Planet-worksは登録商標。©2018 PCI Holdings, Inc. 本製品は2018年10月現在において最新のセキュリティ対策製品です。また、本製品はサイバーセキュリティ対策の専門家による検証を経ており、その効果は保証されません。また、本製品はサイバーセキュリティ対策の専門家による検証を経ており、その効果は保証されません。また、本製品はサイバーセキュリティ対策の専門家による検証を経ており、その効果は保証されません。

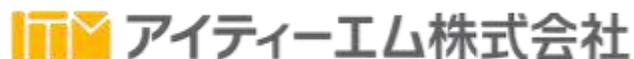
2015年1月、内閣に「サイバーセキュリティ戦略本部」が設置され、同時に、内閣官房に「内閣サイバーセキュリティセンター（NISC= National center of Incident readiness and Strategy for Cybersecurity）」が設置。サイバーセキュリティ政策に関する総合調整を行いつつ、「自由、公正かつ安全なサイバー空間」の創出に向け、官民一体となって様々な活動に取り組んでいる。
(内閣サイバーセキュリティセンター（NISC）Webサイトより抜粋)







アイティーエム株式会社



システムの安心・安全を実現させる“マネージド
セキュリティ インフラ”を提供します

<https://www.itmanage.co.jp/>

株式会社 IT ガード



IT Guard

導入ライセンス&導入社数共に第一位

<https://www.itgc.co.jp/>

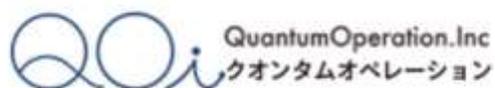
株式会社エクシード・ワン



クラウドとセキュリティとITインフラを
得意としております企業

<https://www.exceedone.co.jp/>

株式会社クオンタムオペレーション



ヘルスケアセンサーや、低周波帯音声対応の
音声認識システムの開発が強みです。

<https://quantum-op.co.jp/>

株式会社グローバル・ネット・アドベンチャーズ



先進のセキュリティ基盤に基づく
次世代サービスの構築支援

<http://global-net-adventures.com/>

シクロマーケティング株式会社



これからの働き方を
マーケティングにより最適化します

<https://cyclo.jp/>

株式会社 GRCS



GRCSは企業の複合的課題をGRCから
解決するITサービスパートナーです。

<https://www.grcs.co.jp/>

ダイワボウ情報システム株式会社



国内のIT流通を支える
トップディストリビューター。

<https://www.pc-daiwabo.co.jp/>

田中電機工業株式会社



世界最先端のソリューション技術で
IT経営の推進をサポートします。

<http://www.tanaka-elec.co.jp/>



株式会社チェンジ



NEW-IT トランスフォーメーションで
お客様の生産性を革新する。

<http://www.change-jp.com/>

株式会社バルク



P マークと ISMS の認証取得支援トップクラスの
実績で企業を強力にサポートします。

<https://www.vlcank.com/>

株式会社ビーアイ



日本で 25 の特許を持つ無線 LAN AP、BLE ゲート
ウェイ、BLE センサー、AppGuard を展開。

http://www.bei.co.jp/?page_id=569/

福島コンピューターシステム株式会社

福島コンピューターシステム株式会社
Fukushima Computer System CO.,LTD.

地方の IT ベンダーとして
地域密着型のサービスを提供します。

<https://www.fcs.co.jp/>

ポートウェルジャパン株式会社

Portwell Japan, Inc.

老舗の産業用 PC、サーバー・エッジ
コンピューティング製品のメーカーです。

<https://www.portwell.co.jp/>

株式会社リプロス



ヤフー、自社サイト等ネットショップで
セキュリティ対策ソフトを販売。

<https://www.repros.co.jp>

(50 音順、掲載許可リセラー様のみ掲載。)



4. CSR・ESGへの取り組み



ESG (Environment = 環境、Social = 社会、Governance = 企業統治) に対し、
継続的かつ積極的な貢献を目指しております。

学校法人立教学院 立教池袋中学校・高等学校「数理研究部」のサポート活動

学校法人立教学院 立教池袋中学校・高等学校「数理研究部」が取り組む研究活動へのサポートを開始（2017年4月）。RISCs（Rikkyo Ikebukuro Support Companiesの略称。本活動に賛同・協力する事業会社群のこと）と共に、「理工系人材の育成」、「イノベーション環境の提供」をテーマに、中高生が最先端技術に触れる機会の提供と社会的意義が深く新たな価値創造ができる人材育成を目的。

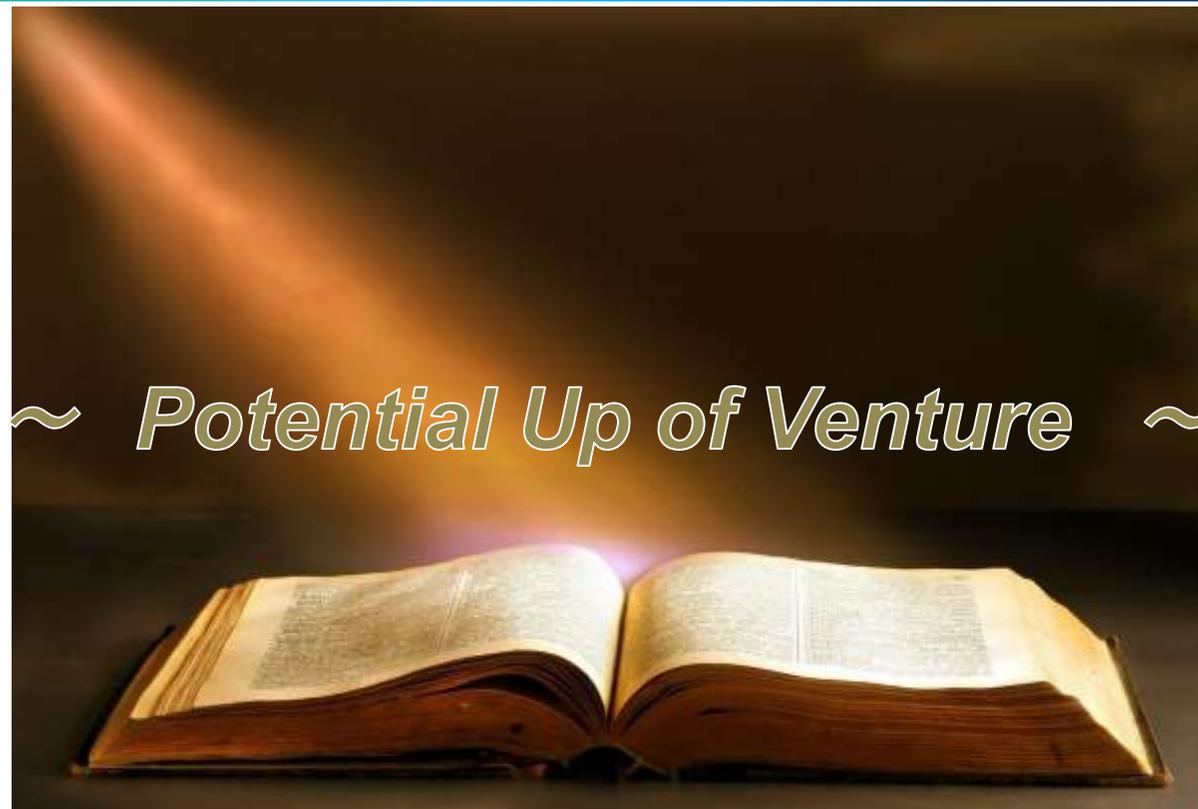
山形県村山市との「地方創生と人づくりに向けた包括的ICT連携協力に関する協定」

山形県村山市内を流れる最上川沿いに建つ多目的温泉保養館「クアハウス基点」へ、市民や観光客の皆様への情報提供を目的に「デジタルサイネージ『情報掲示板A-ya』」を導入（2017年10月）後、「ICT連携に関する協定」を正式締結（2018年1月）。住民の皆様への公共サービス向上と社会実装を目指した「除雪等位置情報システムに係る実証実験（2018年2月開始）」の実施や、「むらやま教育のつどい（2018年11月開催）」へのブース設置により、ICT教育及び先端サイネージ・ソリューションの体験環境を提供。

プロテニス選手を目指す佐藤南帆選手を応援

青少年の健全育成に賛同し、スポーツ活動の支援を決定。具体的には、将来を担う次世代育成と、活動的な社会の実現を目指した青少年育成を目的に、「TeamNaho」を通じて世界で活躍するテニスプレイヤー佐藤南帆選手のサポートを開始（2017年8月）。

5. 決算期末後のリリース



- ① 2018年9月期決算短信
- ② 2018年9月期決算短信補足説明資料
- ③ 定款一部変更に関するお知らせ
- ④ 剰余金の配当（増配）に関するお知らせ
- ⑤ 配当方針の変更（中間配当の実施）及び2019年9月期の配当予想に関するお知らせ
- ⑥ 譲渡制限付株式報酬制度の導入に関するお知らせ
- ⑦ スtock・オプション（新株予約権）の発行に関するお知らせ
- ⑧ 監査等委員会設置会社移行後の役員人事に関するお知らせ

- ① 2018年10月01日 連結子会社Safer Connected World株式会社が、
「AppGuard®リセラー状況」を公表
- ② 2018年10月18日 連結子会社 Safer Connected World株式会社が
「日経 xTECH EXPO AWARD 2018」の
準グランプリ「セキュリティ賞」を受賞
- ③ 2018年11月13日 グループ関連会社株式会社トラッキモGPSが、
**準天頂衛星「みちびき」対応GPS端末「TRKM010
(ユニバーサルモデル)」の発売を開始**
- ④ 2018年11月14日 連結子会社 Safer Connected World株式会社が、
**ポートウェルジャパン株式会社とリセラー契約を
締結**
- ⑤ 2018年11月27日 連結子会社 Safer Connected World株式会社が、
株式会社チェンジとリセラー契約を締結



6. 参考資料

- 会社概要 **概要**
- 事業解説 **解説**



商号	PCIホールディングス株式会社 (PCI Holdings, Inc.)	資本金	10億4,516万円 (2018年9月末)
設立	2005年4月	売上高 (連結)	144億9,359万円 (2018年9月期実績)
上場	東京証券取引所市場第一部 (証券コード: 3918)	経常利益 (連結)	7億7,118万円 (2018年9月実績)
所在地	〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目21-19	従業員数 (連結)	1,195名 (2018年9月30日現在)
代表者	代表取締役会長 天野 豊美 代表取締役社長 原口 直道	連結子会社	PCIソリューションズ(株) (株) シスウェーブ (株) シー・エル・シー (株) りーふねっと Safer Connected World(株) VSE(株) (2018.10.1現在)



企業理念

我々は、**お客様の満足**を通じて
全社員の幸せを追求し、
そして**社会の発展**に貢献します。

行動方針

安定した事業成長を実現します
ユーザに適したソリューションを提供します
応援して頂ける企業を目指します
積極的（**P**）に変化（**C**）を求め革新（**I**）します
全てのステークホルダーに満足して頂ける企業を
目指します

（注） **P** : Positively **C** : Change **I** : Innovate

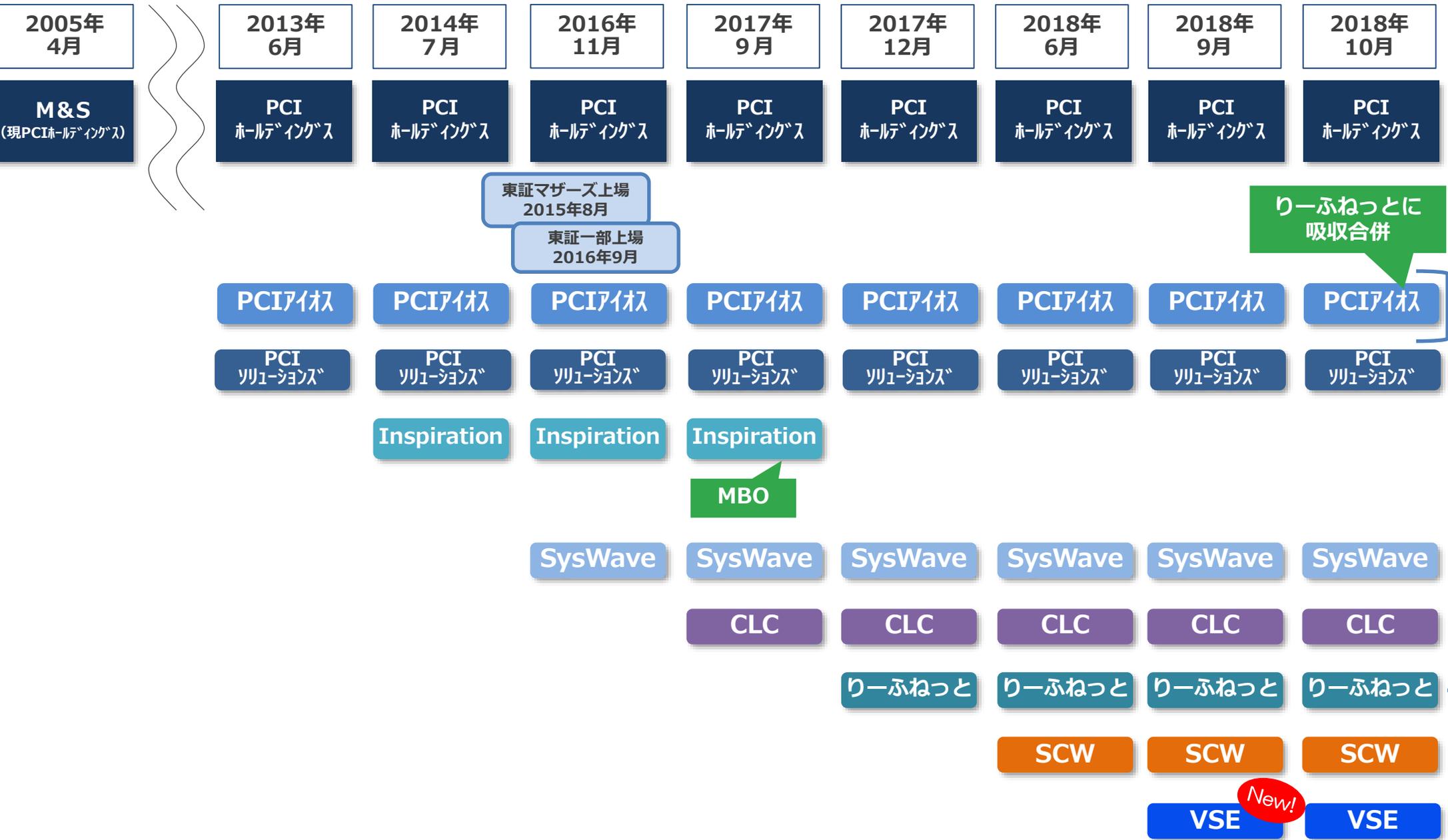
2019年9月期 グループMotto

IoTにより全てが繋がる社会になる中、
当社はITを通じて、
安心、安全、豊かな社会の実現に貢献します。



会社の事業内容について ～ グループ沿革 ～

概要



IR Movies

グループの運営体制（2018年10月1日～）



PCIホールディングス株式会社がグループ事業会社を経営管理することにより事業成長を加速させます

PCIホールディングス



PCI Holdings, Inc.

<http://www.pci-h.co.jp/>

グループ経営管理

New!

PCIソリューションズ



<http://www.pci-sol.com/>

エンベデッドソリューション

ビジネスソリューション

IoT/IoEソリューション

シスウェーブ



<http://syswave.jp/>

半導体トータル
ソリューション

シー・エル・シー



<https://clc.co.jp/>

ビジネスソリューション

リーふねっと



<http://leafnet.jp/index.html>

ビジネスソリューション

IoT/IoEソリューション

Safer Connected
World



<https://ag.safercw.co.jp/>

IoT/IoEソリューション

VSE



<http://www.vse-japan.com/>

エンベデッドソリューション

半導体トータル
ソリューション



IR Movies

PCIソリューションズ

エンベデッド
ソリューション

ビジネス
ソリューション

IoT/IoE
ソリューション

当社グループの連結売上高の約90%を占めるソフトウェア開発事業会社

参入障壁が高いといわれる自動車産業向け、通信端末、情報家電等の様々な電子機器を制御する組込み系（エンベデッド）ソフトウェア開発に強み。一般事業法人向けソフトウェア開発においては、幅広い分野でお客様の需要に応えている。システム開発だけでなくIT人材の育成を目的に教育にも力を入れ、システムと人の両面から顧客に最適なソリューションを提供。加えて、組込み系（エンベデッド）ソフトウェア開発で培った技術を基に、自動車産業関連のIoT/IoEソリューションへも展開している。

シスウェーブ

半導体トータル
ソリューション

LSIの世界を支えるテストエンジニア企業

テスト、アナログ、画像処理をコアコンピタンスとして、LSI設計・テスト・FPGA、システム機器、ソフトウェア開発まで、様々な製品開発に先進のテクノロジーを提供している。

シー・エル・シー

ビジネス
ソリューション

ITシステムを支える基盤構築から、データ管理・セキュリティ対策・運用支援まで包括的なソリューションを展開

大型汎用機・周辺機器などのリース・販売・保守サービスを長年にわたって営む。さまざまな業種、お客様に対するソリューションから基づく豊富な経験とノウハウを活かし、ハード・ソフト両面からビジネスを展開。システムの最適化を提案するエキスパートとして事業を推進。



りーふねっと

ビジネス
ソリューション

IoT/IoE
ソリューション

お客様が感動するサービスをワンストップで企画、制作、運営まで提供。モバイルに強み。オープンソースソフトウェアを活用した、開発も行う

- ・企業向けスマートフォンサービスの企画・コンサルティング・構築サービス、映画館向けチケット予約・販売・発券システムの構築等のトータルソリューションを提供。2012年には総務省より電話に関する事業者識別番号（0067）の資格を獲得し、通信事業者としての事業も展開。
- ・オープンソースソフトウェアによるITシステム構築需要に応える他、業種特化した自社開発ソフトウェアパッケージを有し、その販売ならびに当該業種の業務知識を活用したコンサルテーションも実施。オープンソースソフトウェアとクラウドのノウハウを活かした再生可能エネルギー関連データ収集IoTデバイスや収集したデータ分析を行う。クラウド運用サービスまで一括して受託するビジネスを担う。

Safer Connected World

IoT/IoE
ソリューション

(株)BluePlanet-workusとの合併会社

株式会社Blue Planet-worksの製品である「最強そして究極」のサイバーセキュリティ・エンドポイント・プロテクション『AppGuard®』の販売及び関連サービスを提供。IoT/IoE社会のセキュリティまでリードすることを目的に設立。

VSE

New!

エンベデッド
ソリューション

半導体トータル
ソリューション

(株)バイテックホールディングスグループとの合併会社

半導体やカメラデバイスのサービスサポート、デバイスドライバ～組み込みソフト開発、通信・放送系をメインとした電子機器開発まで、ニーズに合わせたサービスを提供。





さらなる新規事業分野を開拓

当社グループの位置付け

エンベデッドソリューションの開発実績を背景にIoT関連開発を行う。
参入障壁は極めて高い。

半導体チップの受託設計及びテストを行う。自社のテストセンターを所有。
特殊性が強い。

製造会社との深いリレーションによる受注。顧客企業との共同開発も実施。
参入障壁は高い。

主に大手SIerから当社が得意とする分野の開発を受注。
参入障壁は高くない。



IoT / IoEソリューション

- 自動車業界およびエネルギー業界向けIoTソリューションを開発。
- 位置情報の活用、AR/VR、Connected Worldへの貢献

半導体ソリューション

- LSI設計、テスト設計、評価等、半導体開発全般のサービスを提供。半導体開発のイノベーションをトータルサポート。

エンベデッドソリューション

- 自動車、重機・建機、車載器、情報家電、モバイル端末、ネットワーク機器などの組み込みシステムにかかるソフトウェアを開発。

ビジネスソリューション

- 金融、製造業、交通、放送等の幅広い業種へのITシステムを構築。
- ビジネスアプリケーションの開発およびその付随業務を展開。

成長分野

シナジー効果

収益基盤 (安定成長)

高い技術力の源泉



PCIホールディングスの事業基盤

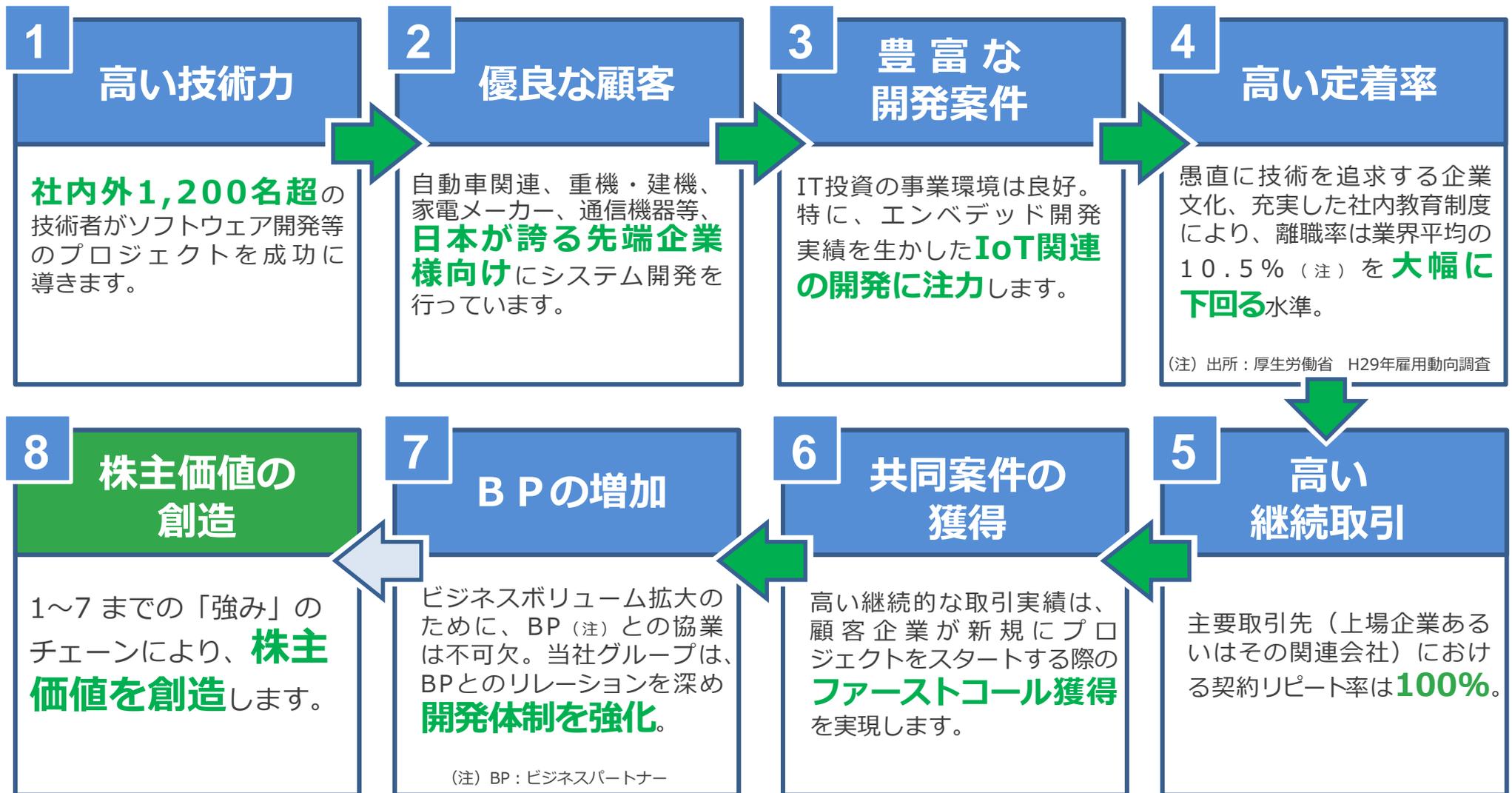
技術力

「ソフトウェア開発力」 × 「アプリケーション開発力」 × 「通信・組み込み・半導体」

知的資本

「豊富な開発実績」 × 「優良な顧客」 × 「モラルの高い社員」 × 「プロジェクト管理体制」

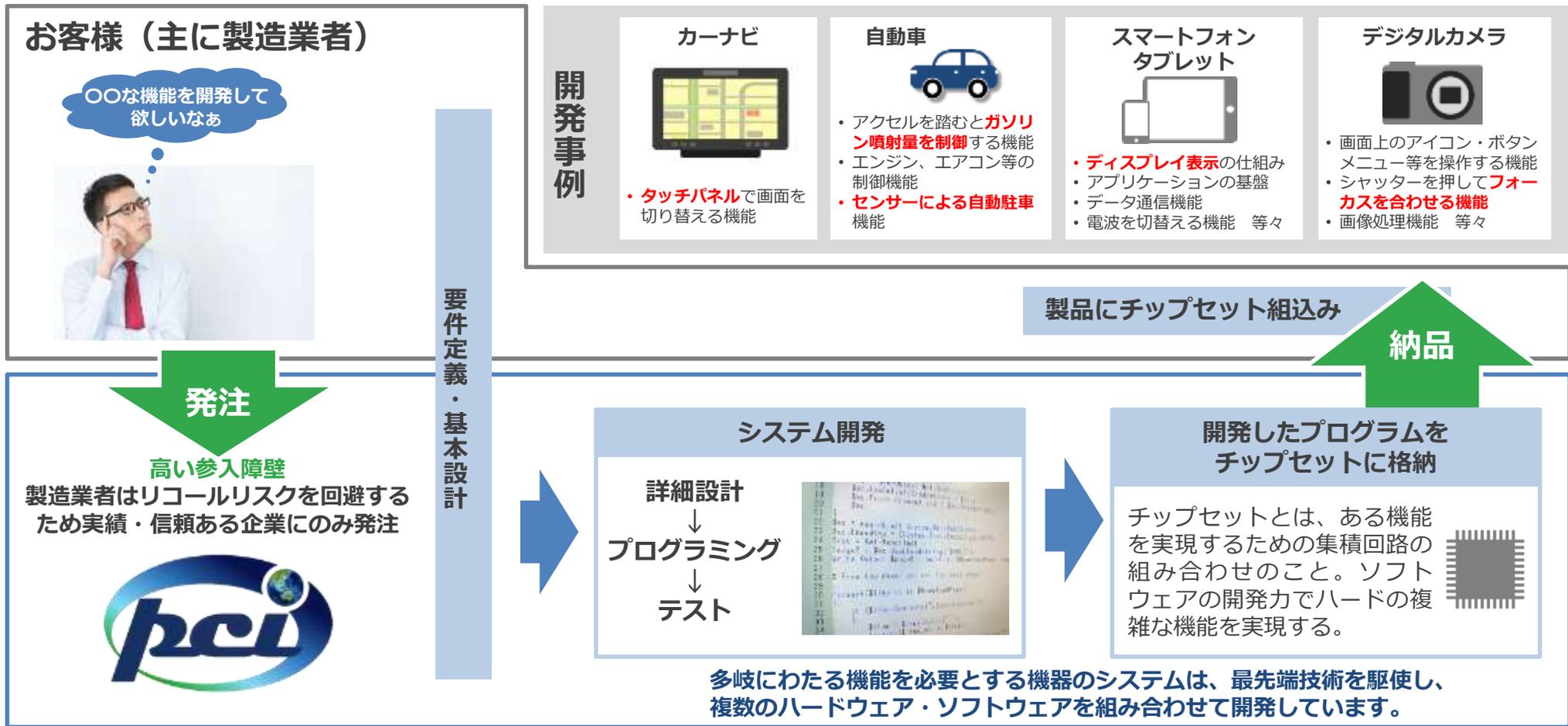




（注）各データは、2018年9月期末時点のもの



- ・エンベデッドシステム（組み込みシステム）は、スマートフォンや自動車、家庭用電子機器・医療機器・産業用機器等、「制御」を必要とするあらゆる製品に内蔵されているコンピュータシステムです。
- ・身の回りの多様化する様々な製品に、当社グループの最先端技術が数多く活用されています。
- ・このエンベデッドシステム開発は当社が最も得意としている分野であり、当開発で培った通信制御技術・組み込み制御技術を応用したものが、IoT/IoEソリューション事業にも活かされています。



※上記は一例です。上記以外にも当社グループは幅広い技術でお客様のニーズにお応えしております。

「AppGuard®」テクノロジーについて

<特徴>

- ① 未知のマルウェアをブロック、② 完全防御、③ 20年以上破られたことのない実績

<採用実績>

米国・州政府関連機関、米国特殊任務関連機関等

<主要株主>

ANAホールディングス株式会社、第一生命保険株式会社、損害保険ジャパン日本興亜株式会社、株式会社電通、株式会社電通国際情報サービス、大興電子通信株式会社、**PCIホールディングス株式会社**、株式会社フェイス、株式会社ジェイティービー、吉本興業株式会社、他

PCにインストールするだけ

- ✓ 不正な行為を未然に阻止
- ✓ 未知、ゼロデイ、ランサムウェア等の最新攻撃から守る
- ✓ システムの安全性を確保
- ✓ 運用コストの削減

軽くて軽快な動作

- ✓ エンジンは、1MB以下
- ✓ スキャン無し、軽快動作
- ✓ 業務への影響無し
- ✓ プロセッサへの負荷が最小

アップデート不要

- ✓ 定義ファイルのダウンロード不要
- ✓ AIエンジンのアップデート不要
- ✓ 常時ネットワーク接続不要
- ✓ 人に依存しない



PC



サーバー



POS端末



ATM

出典：株式会社Blue Planet-works事業説明資料より抜粋



IR Movies



Advisors



黒川清

- 政策研究大学院大学名誉教授
- 特定非営利活動法人日本医療政策機構代表理事
- 元日本学術会議会長
- 元内閣特別顧問



Mark Kelton

- Former senior CIA executive (Deputy Director of the National Clandestine Service for Counter Intelligence (DDNCS/CI))
- Director of MEK & Associates



出井伸之

- クオンタムリープ株式会社代表取締役
- 元ソニー株式会社社長・会長



Stanton D. Anderson, Esq.

- Senior Counsel to the President and CEO, US Chamber of Commerce
- Founder, AHNB
- Former member of US President's Advisory Committee



村井純

- 慶應義塾大学
大学院 政策・メディア研究科委員長
環境情報学部 教授



Robert Bigman

- Former CIA CISO (Chief Information Security Officer)
- 2BSecure President (information security consulting company)

出典：株式会社Blue Planet-works事業説明資料より抜粋



本資料のいかなる情報も、弊社株式購入や売却などを勧誘するものではありません。本資料に記載されている業績予想及び将来の予測等に関する記述は、資料作成時点での入手された情報に基づき弊社で判断した予想であり 潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いかねますのでご承知おき下さい。

お問い合わせ先

PCI ホールディングス株式会社 グループ戦略室
E-mail ir@pci-h.co.jp



[IR Movies](#)

Copyright (C) 2018 PCI Holdings, INC. All Rights Reserved.